

保護者向け児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 6年 1月 20日

事業所名 発達支援ルームふぁそら

保護者等数(児童数) :40

回収数:24

割合 60%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見(一部抜粋)
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○				・広いスペースで運動できて、のびのび過ごせています。 ・一人の子どもが占領してる時もある。 ・ロフトが最大の魅力。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				・視覚支援がなく、ただ自由に遊べる空間になっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				・照明が暗く、危険な印象があります。もう少し明るく見やすい環境にしてほしいです。 ・少し暗い。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	○				※無回答 1件
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				※無回答 1件
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				・子どもの好きなことばりのよう。 ・子の気分によってはスムーズに取り組めない事も多い。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○				・活動内容を子どもが選ぶので、いつも同じ内容になっている。
保護者への説明等	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	・保育園に通っているため、特に必要性を感じない。 ・保育園の先生も「是非見学したい!」と言っていました。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	○				・就学に向けての経験者さんにお話が聞けて良かったです。 ・⑫～⑭まで、その都度相談に応じていただいているので、今はそれで充分。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○				・苦手なことやできるようになったこと等、細かく教えてください。 ・子どもの苦手な事やできるようになったことなどをいつも詳しく教えてください。 ・具体的な話は少ない。 ・活動終了後のフィードバックがありがたいです。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○				・活動が終わった後、活動の様子や助言をしてくださるのでありがたいです。 ・あまりとれていないので子の活動中に面談や相談が出来るとうれしい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	○				
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○				
	⑰	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○				※無回答 1件
非常時等の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○				
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	○				
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				○	
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	○				・保育園に行く前からワクワクしている。早めに迎えに行くので「今日何時迎え?」と楽しそうに聞いてきます。 ・「ふぁそら大好き、楽しい!」と言っています。 ・ここに来ることを一番楽しみにしています。 ・ここに来るのが楽しみです。いつもありがとうございます。 ・信頼関係が出来ていると楽しく通っていますが、新年度でリセットされると不安。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	○				・遊びの中で専門的な支援をしていただき、子どもも随分伸びたように感じます。 ・自宅では難しい遊びや運動をここでできて、親子共にとっても満足しています! ・元気に自由に遊べるのは魅力的ですが、療育になっていない時もある。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者向け児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年1月20日

事業所名 発達支援ルームふあそら

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など（一部抜粋）
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活発な児が複数人いる際には担当スタッフを増やしてリスク管理に努めている。
	② 職員の配置数は適切である	○		・基本は児とスタッフが1対1の支援。活動や環境に合わせてスタッフの人数を増やしている。 ・職員の配置数も考えて、シフトを調整している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・事業所そのものの大きさに、視覚的な刺激が多くなる場合がある。 ・療育遊具が出ており、ごちゃごちゃしているところもある。 ・マットを移動させたりする事で事故リスクを軽減している。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	・所々に老朽化が目立つ。 ・掃除をしてもほこりが溜まりやすい。 ・倉庫を改築している為暗く感じる。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		一人の児に対して複数人の職種が関わっており、それぞれの専門分野の知識を活かしながら関わっている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		必要に応じて法人内事業所に相談している。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月1回全体での勉強会があり、同様に文献読書会や職種別勉強会が月1回以上のペースで行われている。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の思い、ご自宅などでの様子に分けて聞き取りを行い、それらを踏まえて支援計画書を作成している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画書をもとに療育内容を考えている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・複数の評価者、作成者のもと作成されている。 ・基本個人で考える事が多い。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・一部こだわりの強い児の療育では内容が固定化されている場合がある。 ・児が主体の事が多い為固定化されやすいが、スタッフの考えた活動を必ず取り入れる工夫をしている。 ・利用児主体で活動を進めるため、やる事が決まってきた事例もある。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・基本的には担当スタッフが内容を決めている。 ・児の特性や他児との関係性に配慮してその日の役割や関わり方を相談している。 ・同一児にスタッフが複数つく際は、内容など確認している。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・同一児にスタッフが複数つく際は、振り返りを行う事が多い。 ・必要に応じて行っている。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
その他	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者、あるいは最も児との関りが深いスタッフが参加している。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/		該当児がない。

関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		該当児がない。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	保護者を通じて行う事が多い。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	・進学に向けアセスメントシートの作成や未就学児の保護者向けの相談会を実施している。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	研修を受けてはいないが、必要に応じて連携はとれている。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	・療育実施後にフィードバックを実施すると共に、ご自宅での様子や生活面の変化を都度聞き取りしている。 ・児によっては事業所内相談支援などでより詳しく情報を交換する機会を得ている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	プログラムはないが個々で支援している。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に契約書および重要事項説明書を参照して説明を行っている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	フィードバック時の聞き取りや事業所内での相談支援、ご自宅での状況を定期的に実施している。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	企業単位で就学相談会を実施している。 保護者同士が連携をとる機会は設けていない。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	月1回のおたより配布をしている。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○	鍵付きの書庫に保管している。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	・保護者から言われたら確認する程度。十分に把握はできていない。 ・契約時に児の情報と共に記載していただいており、新しく服用を始めたものについても報告していただいている。
④4		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		食事の提供をしていない。
④5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・各遊具や遊び方について触れながら話し合い、その内容を事務所内に掲示している。 ・法人内事業所で起きた事故報告書の事例も共有して再発防止に努めている。
④6		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・研修会の機会が用意されている。 ・年1回法人全体で研修がある。
④7		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	身体拘束を行う事例が無い。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け 放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 6 年 1 月 20日

事業所名 発達支援ルームふぁそら 保護者等数:122 回収数:51 割合 42%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見（一部抜粋）
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			・部屋のスペースが限られている中で多くの道具がある。倉庫整理必要。 ・充分なことがほとんどなのですが、子どもの人数が多い時など、時々狭いと思うこともあります。 ・3人となると充分ではないのかなと思いました。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			・先生によってレベルの差は感じます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・手すりは設置されていないが、利用者によって補助する体制で対処すると良い。 ・分からないところは全て「どちらともいえない」にしました。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	○			※無回答 1件
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○			・子どもの意見も尊重しつつ、新しいことも興味を持たせるように工夫して頂いてと思っています。 ・その時その時で合った活動を取り入れてくださっています。 ・子どもの特性や伸ばしていきたいところを考えながら介入していると思います。 ・子どもに寄り添っているのは分かるのですが、毎回同じような活動に見える。 ・指導者でやり方が違うので統一化してほしい。
保護者への説明等	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・必要ない。 ・特に参加していない。学校は普通校に通学。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			・その日の活動の様子を丁寧に教えてくださり、家や学校のことも聞いてもらえます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			・分からないこと、困っていることを相談してもすぐに分かりやすいアドバイスをいただけています。 ・その日の出来事をこちらにも分かりやすく説明して下さるので、いま彼はこういう状態なのかここが足りずここが伸びているのか等、親としても理解しやすい。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			○	・必要ない。 ・特に参加していない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			※無回答 3件 ・できる範囲のことは対応されていると思う。 ・今まで苦情などなく不満もないのですが、怪我などの時はすぐに説明してもらえています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			・毎回行くたびに丁寧な説明があり、分かりやすいです。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	○			※無回答 1件
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○			・不明。
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	○			・毎回ふぁそらに行くのを楽しみにしています。 ・先生との療育の時間を楽しみに生活の中でも頑張る力をつけています。いつも優しい声掛けをありがとうございます。 ・親子共々利用を楽しみにしています。 ・他のことなら「えー」と言いますが、ふぁそらに来るのは楽しいようです。 ・疲れもあり、その日時によって行きたくないと言う時があります。 ・行くまでは億劫な時もあるようですが、行くと楽しいようです。
	⑰	事業所の支援に満足しているか	○			・子どもがふぁそらに来るのをすごく楽しみにしていると、思いっきり身体を動かしていつも帰りは「やりました」という感じでとてもいい表情を見せてくれるので、とても嬉しく思います。 ・学校や生活の悩みや成長のことなども含めて支援してくださり感謝しています。いつもありがとうございます。 ・先生みなさんがすごく丁寧に優しく子どもに合ったやり方で療育で、本当にありがたいと思っています。 ・手厚い支援をさせていただいて感謝しています。 ・いつも複数のスタッフが介助してくださる皆さんの体験をさせてもらい感謝してます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者向け 放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 6 年 1月 20日

事業所名 発達支援ルームふあそら

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など（一部抜粋）
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・中学生以上の児が身体を動かすには狭い。 ・活動によっては狭いと感じる事がある。 ・利用児のニーズに合わせてスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・基本は児とスタッフが1対1の支援。活動や環境に合わせてスタッフの人数を増やしている。 ・マットを移動させたりする事で事故リスクを軽減している。 ・職員の配置数も考えて、シフトを調整している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・各部屋間の段差がないので歩行困難な場所はなく、介助が必要な児に対しても異動しやすい構造になっている。 ・身体障害者用の駐車スペースはない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			1人の児に対して複数の職種が関わっており、それぞれの専門分野の知識を活かしながら関わっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回全体での勉強会があり、同様に文献抄読会や職種別勉強会が月1回以上のペースで行われている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の思い、ご自宅などでの様子に分けて聞き取りを行い、それらを踏まえて支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			感覚ニーズや過敏さ鈍感さを確認する為、JSI-Rを用いて判断している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・複数の評価者の情報を統合し、立案されている。 ・基本1人で考えている事が多いが、複数人が関わる場合はメインのスタッフが決めて伝える。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・マンネリ化を防ぐため、相談したり他スタッフがサポートに入って意見交換をしている。 ・一部こだわりの強い児の療育では内容が固定化されている場合がある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・気持ちの波が大きな児に対しては、その時々での精神状態に合わせ、活動の難易度や量の調整を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・必要に応じてプランに取り入れて活動している。 ・他児との関わりによって社会性の向上や活動の幅が広がる事が期待できる児に対しては、その都度関わりを目標設定を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			児の特性や他児との関係性に配慮してその日の役割や関わり方を相談している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			保護者からの情報も記載し、次回以降の療育に反映できるような体制をとっている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者、あるいは最も児との関りが深いスタッフが参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		・行事や期末考査などの情報は大きめに共有しているものの、年間行事の細かい日程時間まではうかがう事は少ない。 ・送迎サービスはない。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				○
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			状況に応じて求められた際には、訪問リハスタッフや家族などと情報共有を行いアセスメントシートなどを作成している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			療育実施後にフィードバックを実施すると共に、自宅での様子や生活面の変化を聞き取りしている。時には事業所内相談支援などでより詳しい情報の交換を行う機会を得ている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	企業単位でそういった会を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に契約書および重要事項説明書を参照して説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者から相談があればその都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情対応の窓口を設置し、話しやすい環境づくりや迅速な解決を目指している。 ・保護者から相談があればその都度対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・月1回のおたより配布をしている。 ・ホームページやSNSで情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きの書庫でカルテを管理している。カルテを開いたままにしないなど、管理を徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			一部全体研修会を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			一部全体研修会を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・一部全体研修会を行っている。 ・月1回虐待防止委員会を開催し、虐待の事例などが無いか確認している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当者はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				食事を提供していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				○

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。